

拉致されて24年、母の時計を見ながら、心が折れないように頑張った

〔平成26年9月13日国民大集会にて 曾我ひとみさんの発言〕

拉致被害者を救出する武蔵野大会 Part3

平成27年4月16日(木)
午後5時から
吉祥寺駅北口ロータリー

- 〔弁士〕
- 古屋 圭司**
前拉致問題担当大臣
衆議院議員
 - 土屋 正忠**
衆議院議員
 - 島崎 よしじ**
東京都議会議員



平成26年、今年こそ結果を! 国民大集会にて決意を語る安倍総理

曾我ひとみさんの言葉

今交渉の最中で、私も毎日、毎日、落ち着かない日々を送っています。今日は、私が拉致される前に、私が大好きな、大好きな、世界で二人しかいない一番大好きな母が買ってくれた時計を、この集会にきました。

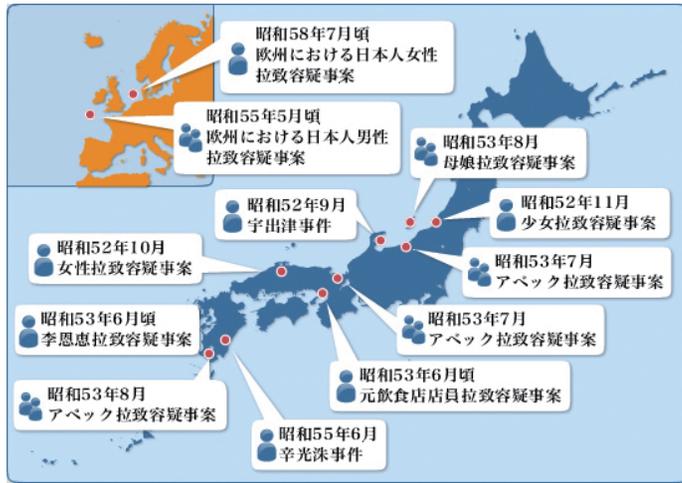
北朝鮮にいた24年間、本当に心が折れて、もうどうしようか、どうしようかと思つた時に、この時計を見ながらいつも勇気をもらつて、こんなことで弱音をはいてはだめだ、絶対に大好きな故郷佐渡に帰るまでは一生懸命頑張つていこうと自分に言い聞かせてきました。この次の集会には、母が買ってくれたこの時計ではなく、私と二緒に母親の手を引いてこの場に立ちたいと思つています。(平成26年9月13日国民大集会にて)。

安倍政権



拉致問題解決に全力!

北朝鮮による拉致被害者連絡会等が主催する国民大集会が、今年は4月26日(日)午後2時から日比谷公会堂で開催されます。安倍総理や山谷拉致問題担当大臣を始め各党の代表者、国会議員、全国各地の「救う会」の代表等が参加の予定です。



政府拉致問題対策本部HPより抜粋

1998年、拉致被害者家族・蓮池透さんが武蔵野市議会に陳情

2003年1月6日、日本行方不明者15名が北朝鮮に拉致されたと日本政府が公式に認定した(現在17名)。それ以前は拉致家族をはじめ支援者の人々が全国各地で調査活動や救援の訴えを行っていた。

家族会の蓮池透さんが武蔵野市議会に陳情に来られたのは1998年2月だった。私は当時武蔵野市長で、それまでも拉致問題に関心をもち、考え続けてきたが、蓮池透さんの切なる訴えに心を打たれた。

市議会議員が市長の私に「どう思うか」と質問をした。私は「武蔵野市長は警察権限を持って

最終決戦のとき! 不退転の決意で全員救出を! 国民大集会

すべての拉致被害者をすぐに返せ!

平成27年4月26日(日)
午後2時~5時 日比谷公会堂

主催

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 (代表 飯塚繁雄)
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会 (会長 西岡力)
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟 (会長 平沼赳夫)
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会 (会長 上田清司)
拉致問題地方議会全国協議会 (会長 松田良昭)



衆議院議員

土屋正忠

いない。これは国家の仕事そのものなので確たることは言えないが、「日本行方不明者が北朝鮮に拉致された」と考えるのは蓋然性がある」と答弁した。

会議終了後、左翼系市議から「市長は証拠もないのに『蓋然性がある』と数回答えた」との指摘があった。

政府が正式に拉致を認定したのは5年後のことである。